

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 1 2 問 } 2 4 問 1 時間
無線工学 1 2 問

法 規

〔1〕 次に掲げる事項のうち、総務大臣が海上移動業務の無線局の免許の申請の審査をする際に審査する事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 工事設計が電波法第3章（無線設備）に定める技術基準に適合すること。
- 2 総務省令で定める無線局（基幹放送局を除く。）の開設の根本的基準に合致すること。
- 3 周波数の割当てが可能であること。
- 4 その無線局の業務を維持するに足りる経理的基礎及び技術的能力があること。

〔2〕 次の記述は、船舶に施設する無線設備について述べたものである。無線設備規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

船舶の航海船橋に通常設置する無線設備には、その筐体^{きようたい}の見やすい箇所に、当該設備の発する磁界が に障害を与えない最小の距離を明示しなければならない。

- 1 自動操舵装置の機能
- 2 自動レーダープロットング機能
- 3 磁気羅針儀の機能
- 4 他の電氣的設備の機能

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 携帯する。
- 2 無線局に備え付ける。
- 3 航海船橋に備え付ける。
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。

〔4〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったとき。
- 2 電波法に違反したとき。
- 3 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 4 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔5〕 無線局の免許人は、電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 2 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 3 その無線局の電波の発射を停止させる。
- 4 その無線局の免許人を告発する。

〔6〕 無線局の免許人は、無線従事者を選任し、又は解任したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 遅滞なく、その旨を総務大臣に届け出る。
- 2 1箇月以内にその旨を総務大臣に届け出る。
- 3 速やかに総務大臣の承認を受ける。
- 4 10日以内にその旨を総務大臣に報告する。

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない。
- 2 無線通信は、長時間継続して行ってはならない。
- 3 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
- 4 必要のない無線通信は、これを行ってはならない。

〔8〕 無線電話通信において、呼出しに使用した電波と同一の電波により通報を送信する場合に順次送信する事項のうち、その送信を省略することができるものはどれか。次のうちから選べ。

- | | |
|----------------|----|
| 1 相手局の呼出名称 | 1回 |
| 2 (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| 3 (1) 相手局の呼出名称 | 1回 |
| (2) こちらは | 1回 |
| (3) 自局の呼出名称 | 1回 |
| 4 (1) こちらは | 1回 |
| (2) 自局の呼出名称 | 1回 |

〔9〕 入港中の船舶の船舶局を運用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 26.175MHzを超え470MHz以下の周波数の電波により通信を行う場合
- 2 総務大臣が行う無線局の検査に際してその運用を必要とする場合
- 3 中短波帯（1,606.5kHzから4,000kHzまでの周波数帯をいう。）の周波数の電波を使用して通報を他の船舶局に送信する場合
- 4 無線通信によらなければ他に陸上との連絡手段がない場合であって、急を要する通報を海岸局に送信する場合

〔10〕 船舶局がデジタル選択呼出通信（遭難通信、緊急通信及び安全通信を行う場合のものを除く。）で呼出しを反復しようとするときは、何分間以上の間隔において何回送信することができるか。次のうちから選べ。

- 1 2分間以上の間隔を置いて2回
- 2 5分間以上の間隔を置いて2回
- 3 7分間以上の間隔を置いて3回
- 4 10分間以上の間隔を置いて3回

〔11〕 遭難呼出し及び遭難通報の送信は、どのように反復しなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 他の通信に混信を与えるおそれがある場合を除き、反復を継続する。
- 2 少なくとも5回反復する。
- 3 少なくとも3分間の間隔において反復する。
- 4 応答があるまで、必要な間隔において反復する。

〔12〕 次の記述は、遭難の呼出し及び通報について述べたものである。国際電気通信連合憲章の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信の局は、遭難の呼出し及び通報を、、絶対的優先順位において受信し、同様にこの通報に応答し、及び直ちに必要な措置をとる義務を負う。

- 1 いずれから発せられたかを問わず
- 2 公海で発せられた場合には
- 3 自国の領海で発せられた場合には
- 4 自国の領海及び公海で発せられた場合には